

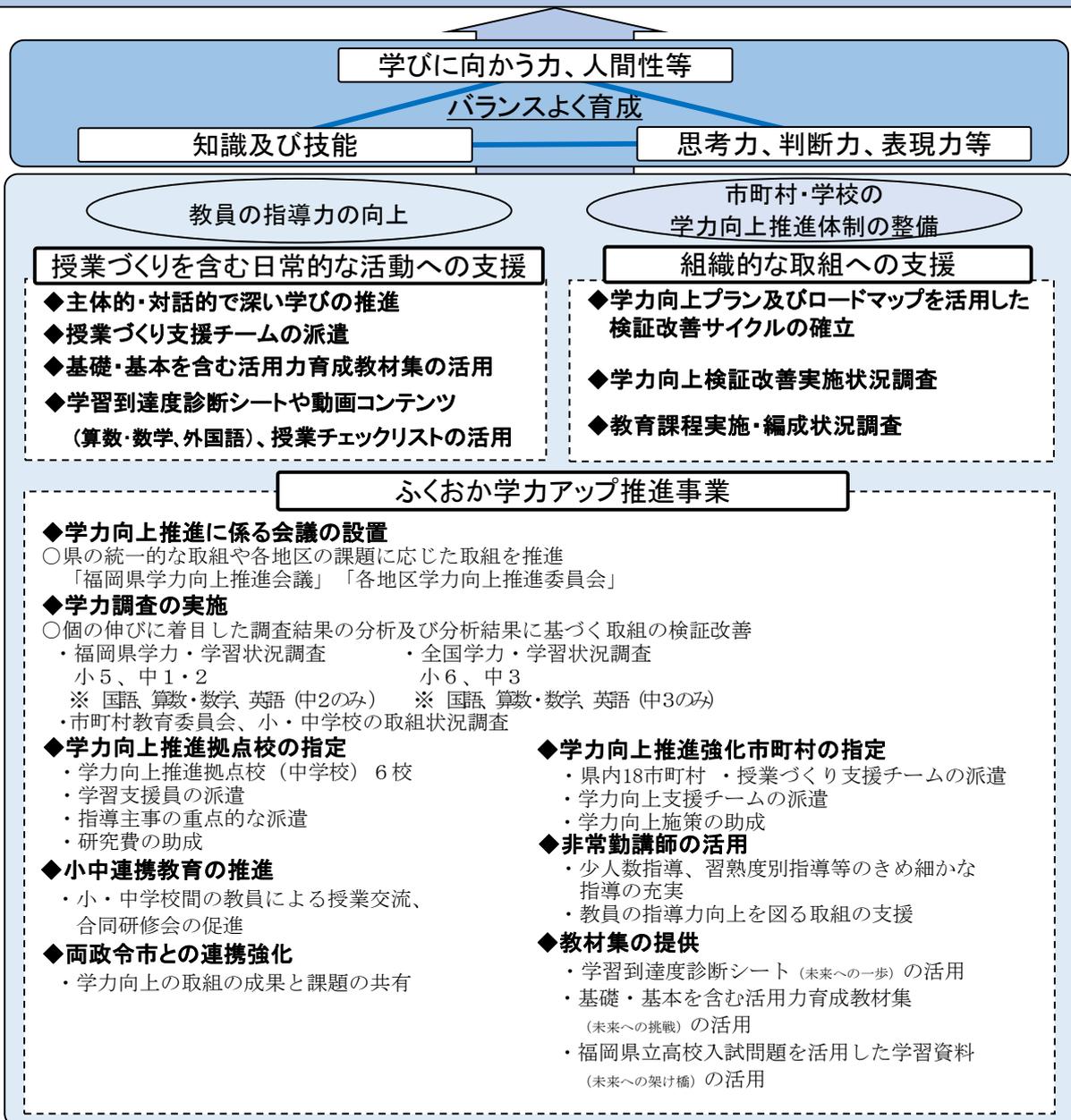
重点的に取り組む事業

令和8年度の新規の施策や「福岡県の教育施策の体系」(4ページ)に示す8の項目において、特に重点的に取り組む施策に関する事業について、以下に示します。

1	学力向上総合推進事業	49
2	グローバル化に対応した英語教育推進事業(一部新規)	50
3	福岡県体力向上総合推進事業	51
4	福岡県部活動改革推進事業(一部新規)	51
5	県産農林水産物を活用した食育推進事業(新規)	52
6	ワンヘルス教育総合推進事業(一部新規)	53
7	読書好きを育む環境づくり応援事業	54
8	いじめ・不登校総合対策事業(一部新規)	55
9	保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業	56
10	地域と一体となった学校づくり事業	56
11	「 ^{また} 鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	57
12	特別支援教育の推進事業(一部新規)	58
13	キャリア教育総合推進事業	59
14	帰国・外国籍児童生徒の教育支援事業(一部新規)	60
15	ICTを活用した教育推進事業(一部新規)	61
16	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業	62
17	教職員の働き方改革推進事業(一部新規)	62
18	ジュニアアスリート育成・ジュニアスポーツボトムアップ推進・競技団体等活性化事業(一部新規)	63
19	ふくおか社会教育応援隊事業	63
20	九州歴史資料館収蔵品デジタル化・公開事業	64
21	「西の都」大宰府未来創造事業(新規)	64
22	人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業	65
	※(一部新規)中の_____の部分が新規事業を表	
	<参考資料1>重点的に取り組む事業に関する予算概要	66
	<参考資料2>魅力ある県立高校づくり～次代を担う人財の育成に向けて～	68

県、市町村、学校が一体となった学力向上の取組を総合的に展開することにより、児童生徒の実態に即した取組を強化して、確かな学力を育みます。

確かな学力の育成



学校、家庭、地域の連携・協働

【学校と地域の効果的な連携・協働】

- ◆地域学校協働活動事業
 - ・地域学校協働本部を設置し、学校支援、学習支援等を実施する市町村を支援
 - ・地域学校協働活動推進員、協働活動サポーター等研修会の開催
- ◆コミュニティ・スクールの推進・充実
 - ・コミュニティ・スクール導入後の取組の充実に向けた研修会の開催

【家庭教育を支援する取組】

- ◆学習習慣の定着に関する啓発等
 - ・県社会教育主事等が家庭教育に関するリーフレットを活用し、学力の基盤となる基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着について、保護者等への情報提供及び啓発
- ◆県PTA連合会と連携した取組
 - ・PTAが実施する"新"家庭教育宣言等における基本的な生活習慣の定着を図る取組の奨励

その他の取組

- 携帯電話・スマートフォンのルールづくりの推進
- 「チーム学校」等の強化

事業費：410,903千円

小学校教員及び中・高等学校英語教員の英語力・指導力を高めるとともに、小・中・高で一貫性のある英語教育を実施することを通して、英語力や英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を養成し、海外留学を志す児童生徒及びグローバル社会で活躍する人材を育成します。

英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付け、
グローバル社会で活躍する人材を育成

児童生徒の
英語力の向上

教員の英語力・
指導力の向上

豊かな国際感覚の
醸成

中・高等学校における英語教育の高度化への対応

1 英語力の高い生徒の育成

- 福岡県学力調査（英語）＜中＞
- ハウステンボスでのイングリッシュキャンプ(3泊4日)＜中＞
- 英語授業改善推進市町村による実践的研究＜中＞
(AIアプリを活用した英語授業モデルの構築、英語授業改善推進委員会の実施)
- 県域の中学生（全学年）を対象とした英検IBAテストの実施＜中＞
- 中学生英語スピーチコンテストの開催＜中＞
- ALT（外国語指導助手）の配置・活用＜中・高＞
- ALTスペシャリスト（英語イマージョン教育等の実践・普及も担うALT）、NET（ネイティブ英語教員）の配置・活用＜高＞
- ALTを活用したオンライン英会話の実施＜高＞
- 生成AIを活用した英語学習モデルの構築＜高＞

2 教員の英語力・指導力の向上

- 教員の英語指導力向上研修の実施・充実＜中・高＞
- NET及びALTスペシャリストによる公開授業の実施＜高＞
- 生成AIを活用した英語教育研修会の実施＜高＞

3 高校生の海外留学の促進

- 「福岡から世界へ」人材育成プログラムの実施
 - ・県主催の短期海外留学研修の実施
 - ・自らの課題意識や興味・関心に基づく探究型海外留学への支援
- 海外留学の手続・費用等に係る説明会の実施
- 海外留学経費の助成
- 留学経験者による留学の促進活動

小学校における英語教育の教科化への対応

1 教員の英語指導力の向上

- 力量を備えた教員の採用

2 小学生の英語コミュニケーションへの意欲向上

- 言語活動を通して指導することへの支援
- 県域の小学6年生を対象とした英検ESGの提供

【課題】

■児童生徒の英語力の向上

■小・中・高校教員の英語力・指導力の向上

■高校生の海外留学に対する意識や意欲の向上

事業費：596,573千円

子どもの運動に対する意識や意欲の向上及び運動習慣の定着を図り、体力・運動能力の向上に資することを目的として、子どもの体力向上に係る総合的な取組を実施します。

運動に対する意識や意欲の向上及び運動習慣の定着による体力・運動能力の向上

子どもの体力向上に係る総合的な取組

運動への動機付けと習慣化

小学生チャレンジスポーツプロジェクトの実施

- 「スポコン広場チャレンジランキングゾーン」の実施
- 「みんなでダンス」の実施 ○スポコン広場地区大会の開催

体力アップシートの配布

- 運動への取組や新体力テストの結果が記録できるシートを配布

1校1取組運動の促進

- 各学校の実態に応じた体力向上に係る特色ある取組の計画的かつ継続的な実践を促進

教員の指導力向上

小・中学校体力向上指導者研修会の開催

- 小・中学校の体育担当教員を対象として、体力向上に関する取組についての研修を実施

授業改善リーフレットの配布

- 体育・保健体育の授業改善に向けて、授業の具体例等を示した「小学校版」「中学校・高等学校版」2種類のリーフレットを配布

福岡県体力向上推進委員会

本県における子どもたちの体力向上に向けた取組を総合的に推進するために取組内容等を検討

子どもの運動に関する課題

- 運動する子どもとしない子どもの二極化傾向
- 体力・運動能力の低下 など

教員の指導に関する課題

- 指導力向上に向けた研修の機会の不足
- 授業づくりに向けた情報の不十分さ など

事業費：843千円

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築のため、部活動改革協議会や実証事業等の実施、指導者向け研修会の開催等により、部活動改革に係る総合的な取組を推進します。

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築

部活動改革に係る総合的な取組

実施主体、人材確保等の環境づくり

○地域展開推進協議会の開催

- ・各市町村中学校等における平日を含めた部活動が円滑に地域展開できるよう、市町村への支援策等を検討する会議を開催

○平日における部活動の地域展開に向けた実証事業の実施

- ・平日の部活動の地域展開に向けた持続可能な運営モデルの構築等に関する実証事業を実施

○アドバイザー派遣事業の実施

- ・新たに地域展開に向けた会議体を設置する市町村に対し、課題に応じた知識や経験を有するアドバイザーを派遣

○部活動指導員の配置支援の実施

- ・部活動の指導体制の充実
- ・教職員の負担軽減

指導者向け研修会等

○運動部活動指導力向上研修会の開催

- ・運動部活動に関わる指導者の資質向上と運動部活動の適切な運営に資することを目的とした、中・高等学校等の運動部活動顧問の指導力向上のための講義及び実技研修を実施

○部活動指導員研修会の開催

- ・部活動指導員の資質向上と部活動の適切な運営に資することを目的とした、部活動の指導体制の在り方や生徒理解に基づく指導法等に関する研修を実施

教育庁

連携

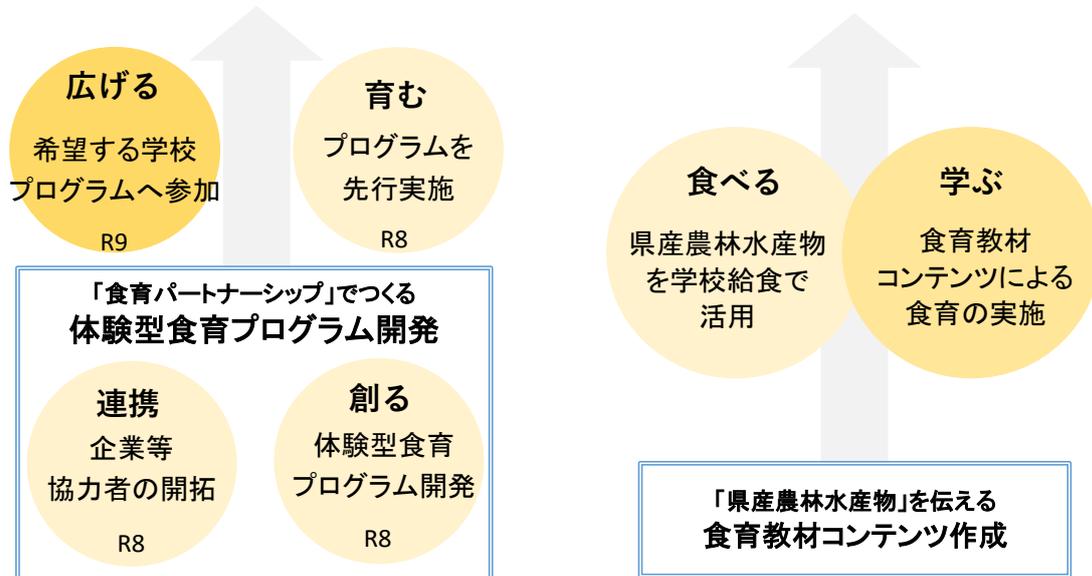
人材育成・活躍推進部

事業費：165,677千円

企業や生産者と連携した「食育パートナーシップ」を構築し、県産農林水産物を活用した新たな体験型食育プログラムの開発・実施をします。

また、県産農林水産物を「生きた教材」として学校給食で活用するために、県産農林水産物の良さや生産過程等を伝える教材（動画コンテンツ）を作成し、各学校で食育活動を実施します。

学校での食育を推進



課題

- ・市町村 子どもたちに地元の食材に親しみを持ってほしい
将来的に地域を支える人材を育てたい
- ・学校での食育は座学が中心。郷土愛を育むためには体験活動が必要

事業費：4,555千円

幼児・児童・生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を身に付けるため、幼児期段階から高等学校段階までの系統性ある「ワンヘルス教育」の推進を図るとともに、「ワンヘルス」の理念の普及・啓発を図ります。



生涯にわたって自らの健康や環境を適切に
管理・改善していくための資質・能力の育成

ワンヘルスの理念の普及・啓発 / ワンヘルス教育の推進

幼稚園・ 小・中学校

- ◆幼稚園における啓発用絵本の配布
- ◆小学校における動物飼育相談に係る学校支援
- ◆ワンヘルス学習推進校(小学校4校・中学校4校)
 - ・ワンヘルスに関する教育活動の充実
 - ・農業高校等を活用した体験活動の実施
 - ・専門的知見(ワンヘルスマスター等)の活用
 - ・実践発表会の開催

高等学校

- ◆ワンヘルス教育推進教員向け研修会の実施
- ◆外部講師の活用による講演会の実施
- ◆農業高校における先進的、重点的な取組及び実践発表
- ◆ワンヘルス教育の実践内容の共有及び普及・啓発・推進
- ◆「福岡から世界へ」人材育成プログラムの中でのワンヘルスに関する学習
- ◆「花あふれる県立学校プロジェクト」を通じた生徒の緑化意識や環境保護の意識の醸成

特別支援学校

- ◆ワンヘルスマスター等の活用による教員向け講演会の実施
- ◆ドッグセラピーの実施
- ◆ワンヘルス学習推進モデル校でのカリキュラム開発・実践
- ◆「花あふれる県立学校プロジェクト」を通じた生徒の緑化意識や環境保護の意識の醸成

青少年教育施設

- ◆屋外用案内板を活用してワンヘルスプログラムを実施
- ◆ワンヘルス教育の普及・啓発のためのパネル展示

子どものためのワンヘルスリーフレットの配布
【 小学校低学年版、小学校高学年版、中学校版、高等学校版、特別支援学校版 】

指導・助言

成果報告

ワンヘルス教育推進委員会

〔 構成 〕 学識者、獣医師会、医師会、市民団体、実践協力校、福岡県高等学校保健会、
福岡県関係部局、福岡県教育委員会

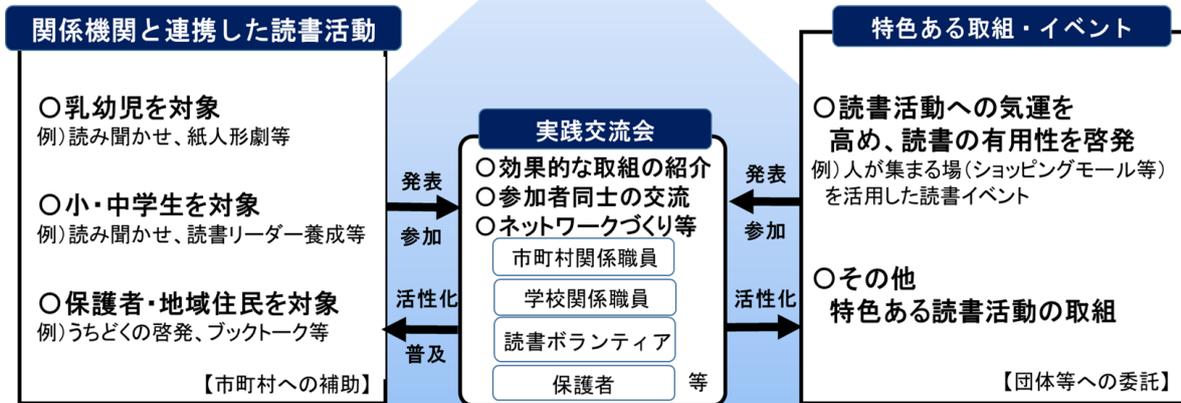
< 推進委員会で協議する内容 >

- ◆ワンヘルス教育の目的及び目指す子ども像
- ◆関係部局・団体等との連携の在り方
- ◆発達段階の系統性を踏まえたワンヘルス教育の実践
- ◆学校、保護者、地域に対する周知・啓発

事業費：37,432千円

乳幼児から中学生までを対象とした発達段階に応じた読書活動の取組や保護者への啓発、読書活動の気運を高める特色ある取組の支援を通して、「読書が好きな子ども」が育まれる環境づくりを推進します。

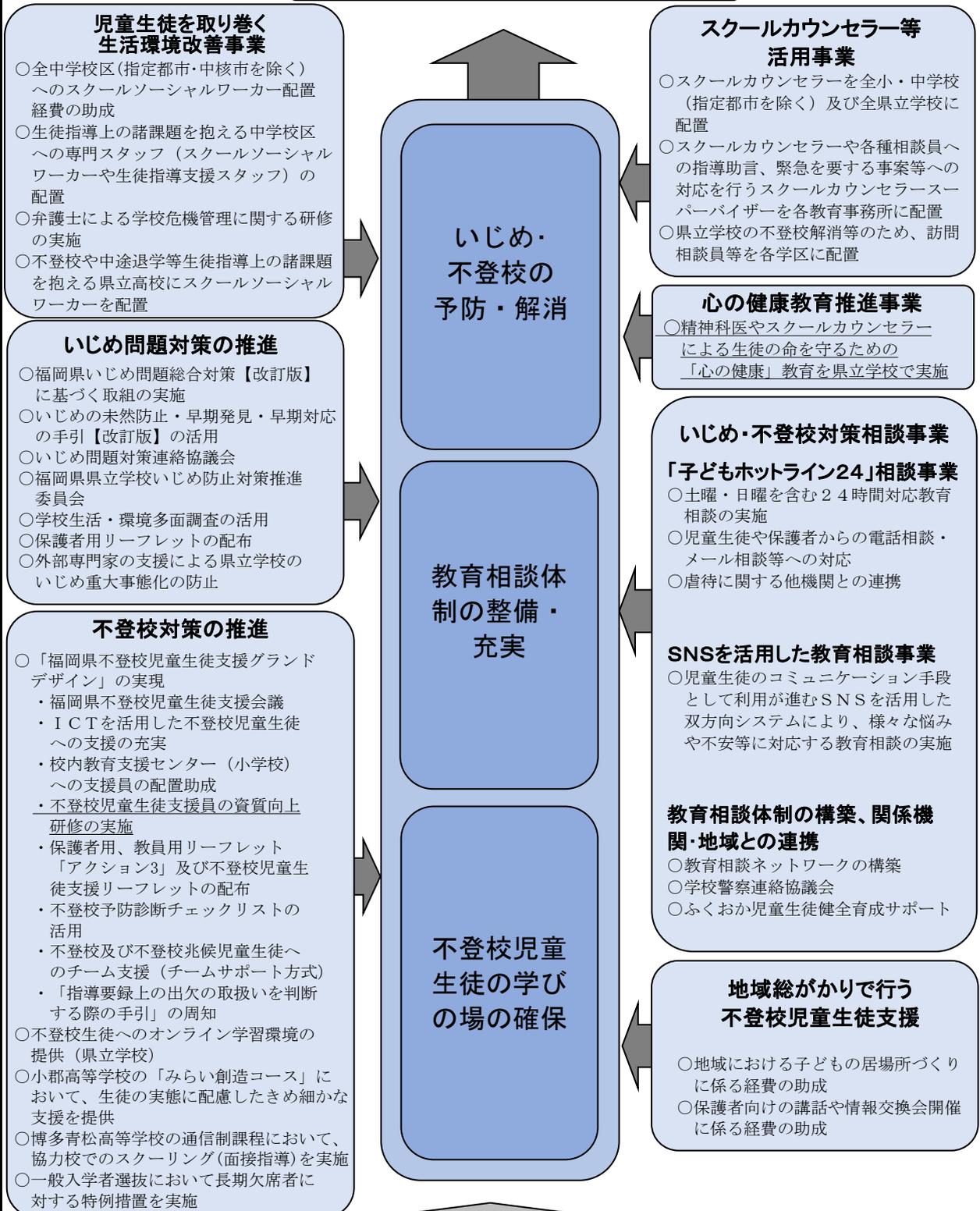
読書好きを育む環境づくりの充実



事業費：3,214千円

スクールカウンセラー等の専門家や関係機関等との連携・協働、一人一人に応じた多様な支援により、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指し、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進します。

魅力ある学校



児童生徒を取り巻く生活環境改善事業

- 全中学校区（指定都市・中核市を除く）へのスクールソーシャルワーカー配置経費の助成
- 生徒指導上の諸課題を抱える中学校区への専門スタッフ（スクールソーシャルワーカーや生徒指導支援スタッフ）の配置
- 弁護士による学校危機管理に関する研修の実施
- 不登校や中途退学等生徒指導上の諸課題を抱える県立高校にスクールソーシャルワーカーを配置

いじめ問題対策の推進

- 福岡県いじめ問題総合対策【改訂版】に基づく取組の実施
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応の手引【改訂版】の活用
- いじめ問題対策連絡協議会
- 福岡県立学校いじめ防止対策推進委員会
- 学校生活・環境多面調査の活用
- 保護者用リーフレットの配布
- 外部専門家の支援による県立学校がいじめ重大事態化の防止

不登校対策の推進

- 「福岡県不登校児童生徒支援グランドデザイン」の実現
 - ・福岡県不登校児童生徒支援会議
 - ・ICTを活用した不登校児童生徒への支援の充実
 - ・校内教育支援センター（小学校）への支援員の配置助成
 - ・不登校児童生徒支援員の資質向上研修の実施
 - ・保護者用、教員用リーフレット「アクション3」及び不登校児童生徒支援リーフレットの配布
 - ・不登校予防診断チェックリストの活用
 - ・不登校及び不登校兆候児童生徒へのチーム支援（チームサポート方式）
 - ・「指導要録上の出欠の取扱いを判断する際の手引」の周知
- 不登校生徒へのオンライン学習環境の提供（県立学校）
- 小郡高等学校の「みらい創造コース」において、生徒の実態に配慮したきめ細かな支援を提供
- 博多青松高等学校の通信制課程において、協力校でのスクーリング（面接指導）を実施
- 一般入学者選抜において長期欠席者に対する特例措置を実施

スクールカウンセラー等活用事業

- スクールカウンセラーを全小・中学校（指定都市を除く）及び全県立学校に配置
- スクールカウンセラーや各種相談員への指導助言、緊急を要する事案等への対応を行うスクールカウンセラースーパーバイザーを各教育事務所に配置
- 県立学校の不登校解消等のため、訪問相談員等を各学区に配置

心の健康教育推進事業

- 精神科医やスクールカウンセラーによる生徒の命を守るための「心の健康」教育を県立学校で実施

いじめ・不登校対策相談事業

- 「子どもホットライン24」相談事業
 - 土曜・日曜を含む24時間対応教育相談の実施
 - 児童生徒や保護者からの電話相談・メール相談等への対応
 - 虐待に関する他機関との連携

SNSを活用した教育相談事業

- 児童生徒のコミュニケーション手段として利用が進むSNSを活用した双方向システムにより、様々な悩みや不安等に対応する教育相談の実施

教育相談体制の構築、関係機関・地域との連携

- 教育相談ネットワークの構築
- 学校警察連絡協議会
- ふくおか児童生徒健全育成サポート

地域総がかりで行う不登校児童生徒支援

- 地域における子どもの居場所づくりに係る経費の助成
- 保護者向けの講話や情報交換会開催に係る経費の助成

豊かな人間性の育成

- 福岡県豊かな心育成推進会議
- 子どもの人間関係形成や社会性を育成する活動等
- いじめ・不登校を生まない教育活動の推進

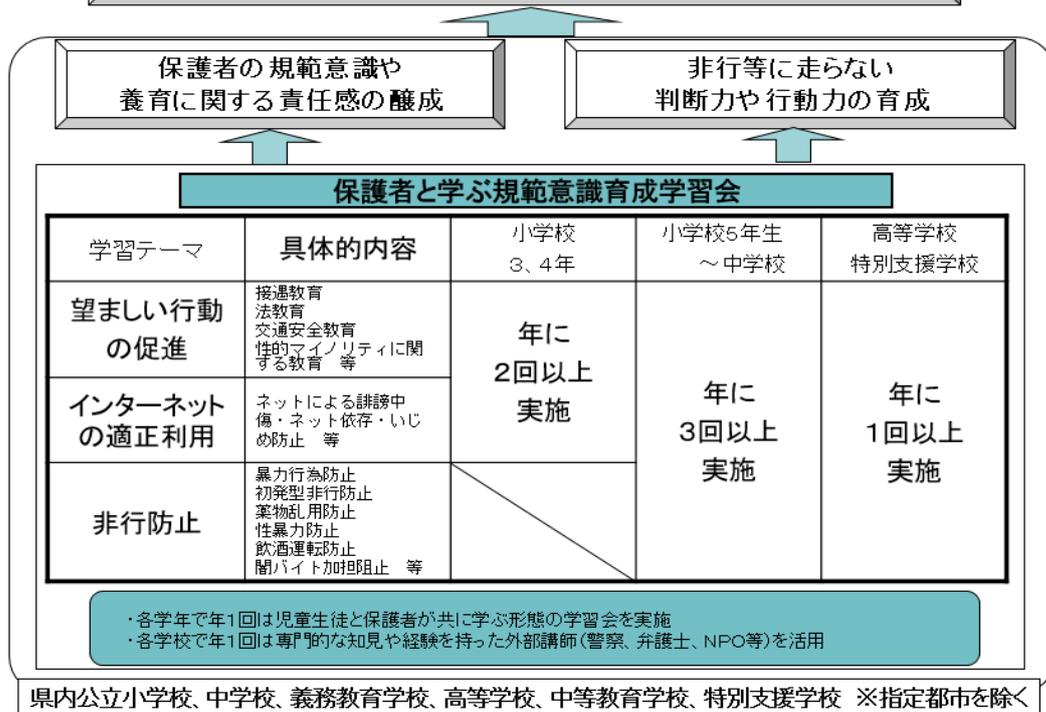
事業費：832,837千円

9 保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業

高校教育課・義務教育課・特別支援教育課

保護者が児童生徒とともに規範意識について学ぶことで、保護者の規範意識や養育に関する責任感を高め、さらに学校と家庭との連携を図り、児童生徒の規範意識を育成します。

非行防止の基盤となる児童生徒の規範意識の育成

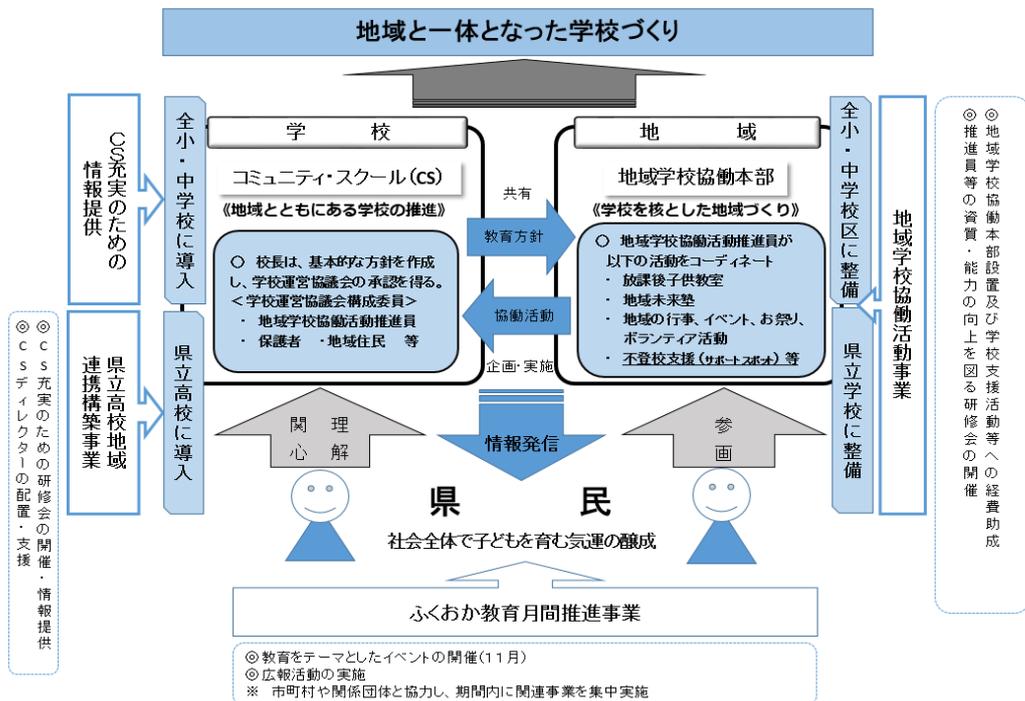


事業費：10,285千円

10 地域と一体となった学校づくり事業

義務教育課・高校教育課・社会教育課他

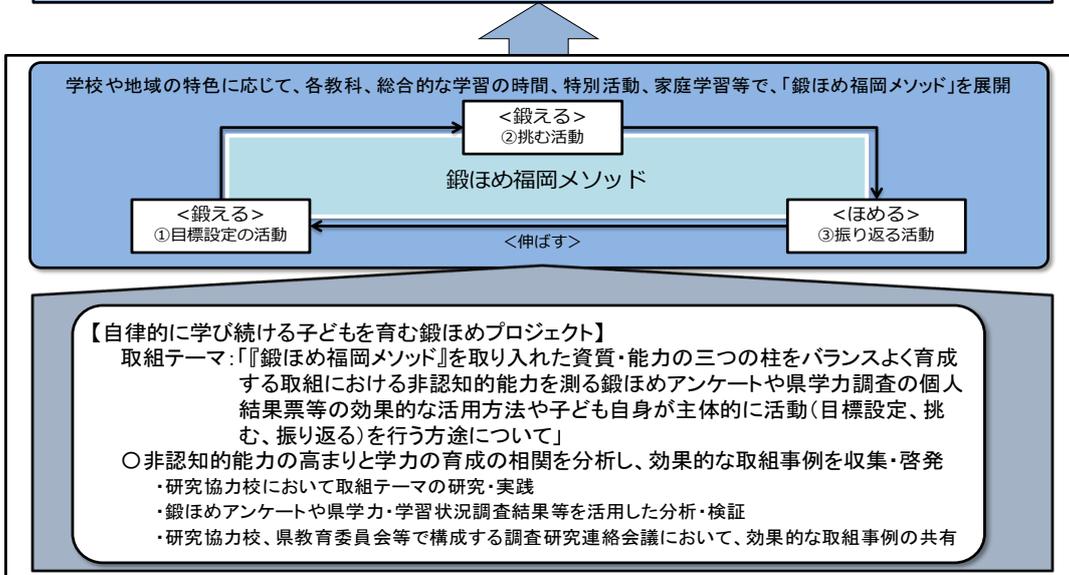
コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の導入・実践に取り組む市町村を支援するとともに、県立高校にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部を導入・整備することで、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育成する体制を整え、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進します。



事業費：195,421千円

福岡県独自の指導方法「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を通して、子どもの学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等を育成するとともに、その成果を県内に広く普及します。

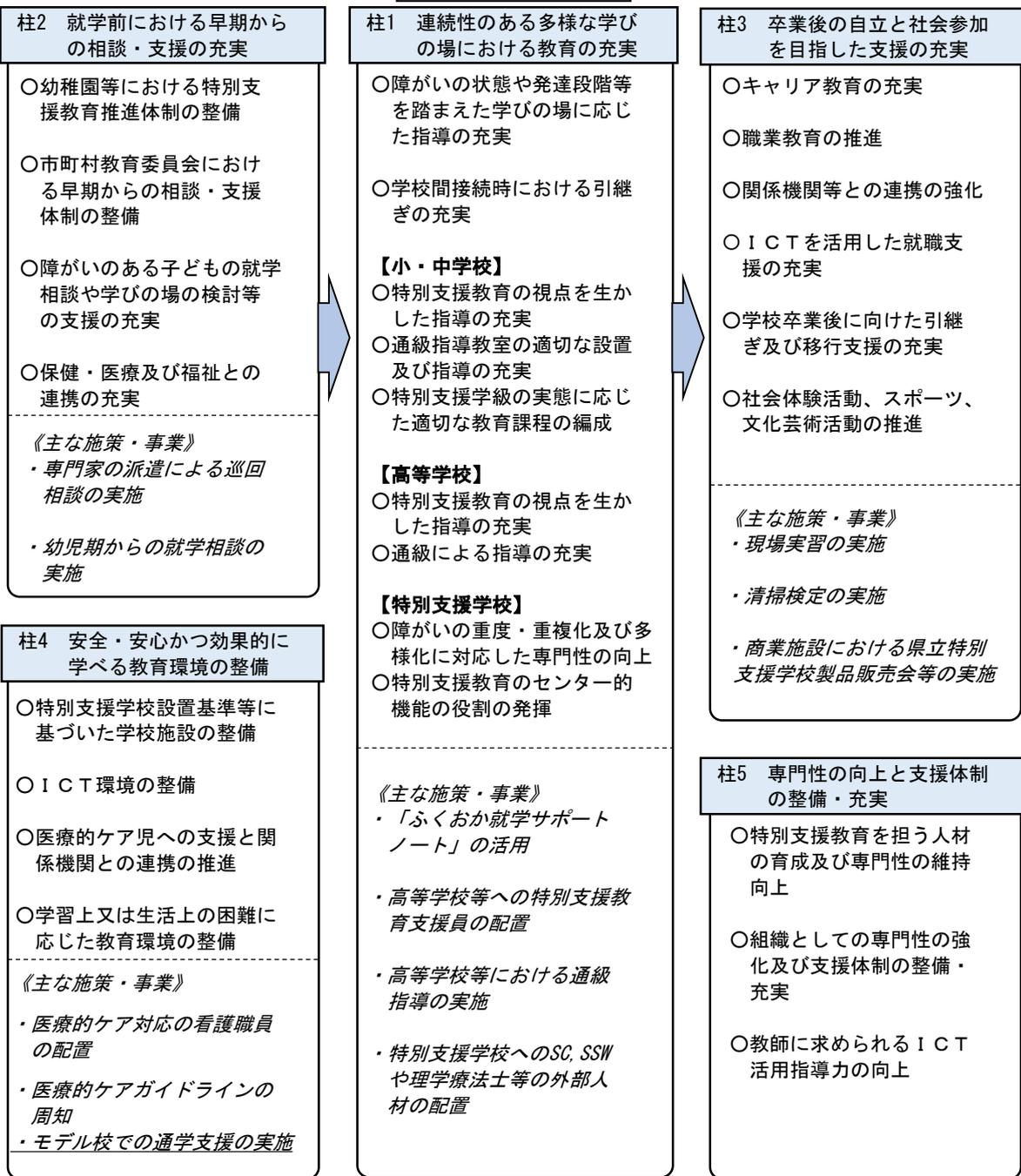
学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等の育成



事業費：1,341千円

福岡県特別支援教育推進プラン（第2期）に掲げた5つの柱に基づき、インクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育を推進し、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指します。

障がいのある子どもの自立と社会参加



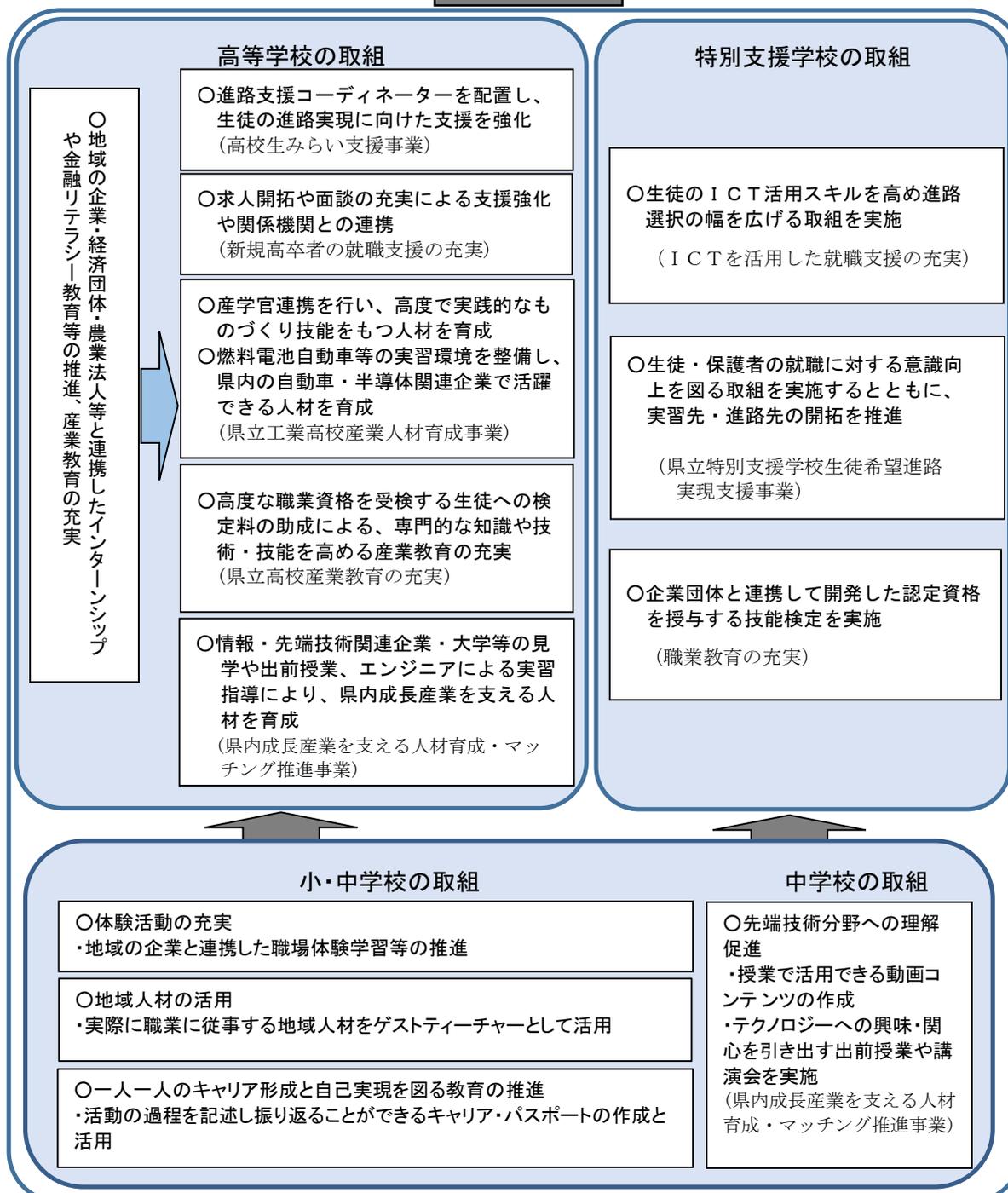
【課題】

- ・ 対象児童生徒数の増加に伴う特別支援学校の教室不足の解消
- ・ 障がいの重度・重複化及び多様化に対応した教育の充実及び教員の専門性の向上
- ・ 子どもの多様なニーズへの対応（学びの場の検討、実習先・就職先の開拓）
- ・ 進学・就職時における継続性のある指導及び切れ目ない支援

事業費：544,658千円

地域の企業・経済団体等と連携して、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観を育み、自立した生き方を考えさせるためのキャリア教育、各地域のニーズに応じた職業教育を推進します。

社会で自立していく力



事業費：215,148千円

帰国・外国籍児童生徒の適切な教育の機会の確保を図るため、日本語指導を実施するとともに、学校生活全般に対してきめ細かな支援を行うことにより、児童生徒及び保護者が抱える課題を解決し、児童生徒の進路選択の幅を広げます。

児童生徒の進路選択の幅を拡大

帰国・外国籍児童生徒の日本の教育への適応

帰国・外国籍児童生徒へのきめ細かな支援体制と整備

高等学校段階

日本語講座実施

- 支援が必要な生徒が在籍する高等学校等に日本語指導者を派遣し日本語講座を実施
- オンラインでも受講可

学校生活サポーター配置

- 生徒の母語等に対応できる学校生活サポーターによる学校訪問
- 学習支援、生活支援、進路支援を実施

通訳ソフト導入

- 1人1台端末に通訳ソフトを導入
- 授業時の教員の説明や生徒の発言を翻訳
- 保護者との面談時にも活用

義務教育段階

運営協議会の設置

- 県教育委員会、学識経験者、関係機関・団体担当者により構成
- 県の帰国・外国人児童生徒等教育の課題に対する施策等について協議・検討

支援員の配置に要する費用の支援

- 母語話者や日本語指導のサポーターとして支援員を配置
- 児童生徒やその保護者との通訳を含む生活及び学習支援

日本語指導アドバイザーの派遣

- 日本語指導アドバイザーによる学校訪問
- 「特別の教育課程」の編成や「個別の指導計画」の作成についての助言

日本語支援アプリの導入に要する経費の支援

- 日本語指導に係る学習支援に活用

専門研修の実施

- 担当者同士による授業づくり・支援体制等についての演習や協議
- 外部講師による講話など

日本語が十分に習得できていないために、学習内容の理解が困難となり、帰国・外国籍児童生徒の進路選択の幅が狭くなっている。

事業費：27,846千円

学校におけるICT環境の整備を進め、これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせ、児童生徒の情報活用能力などの資質・能力を伸ばす、令和の時代にふさわしい「新しい教育」の姿を実現します。

令和の時代にふさわしい「新しい教育」

ICTを活用した教育の充実

これまでの教育実践の蓄積

× ICT =

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

教員のICT活用指導力の向上

- 各地域、学校の実態等に応じた研修等の実施
・各地域や学校の実態やニーズに応じた授業におけるICT活用についての校内研修等の支援
- 県立学校における授業へのICTの効果的活用を推進
・「教育の情報化推進主任」をチーフとして学校全体で授業改善に取り組む体制づくり
・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する校内研修を充実

先進的教育モデルの研究

- 【小・中学校】
- STEAM教育等、ICTを活用した教科横断的な学びに関する授業・学習等の在り方について研究
- 協力校における情報活用能力育成のためのカリキュラムマネジメントの推進
- 指導計画や実践事例等の普及啓発
- 【県立高校等】
- ICTを効果的に活用した授業改善や評価方法を研究
- デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの推進
- 専門高校において、デジタルを活用した高度な専門教科指導についての研究

プログラミング教育の充実

- 【県立高校】
- 「情報Ⅰ」の実習の中で、プログラミングを活用して生活における諸問題の解決力を養う学習活動ができる環境を整備

アーカイブ動画サイトの創設

- 【県立高校等】
- 1人1台タブレット型パソコンを活用した県立学校全体の多彩な教育資源の共有による、学校の枠を越えた時間や空間にとらわれない学習機会の提供

ICT環境の整備

- 義務教育段階の公立学校における、福岡県公立学校情報機器整備基金を活用した1人1台端末の更新
- 県立学校の生徒用1人1台タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の教員用タブレット型パソコンの整備
- 校務系データと学習系データの連携・利活用を可能とするネットワーク環境の整備(全県立学校)
- 情報、数学、理科等の教育や、ICTを活用した文理横断的な学びを強化する県立学校に対し、必要な環境を整備
- 教員のICT活用をサポートする情報通信技術支援員（ICT支援員）の継続配置(全県立学校)
- 児童生徒の障がいの特性に応じたICT機器（分身ロボット・デジタル教科書・入出力支援装置等）の配備・維持・更新（県立特別支援学校）

生徒の学習データの蓄積・分析

- 各学校でのデータ分析により生徒自身の学びの振り返りや教員の指導改善に活用できるデジタル採点システムの活用(県立中・高等学校)

福岡県学校教育情報化推進計画

事業費：4,023,834千円

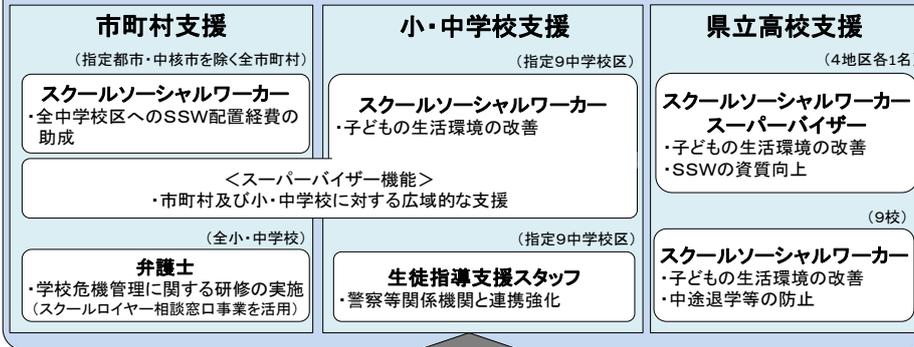
16 児童生徒を取り巻く生活環境改善事業

高校教育課・義務教育課・特別支援教育課

学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策を展開するため、全中学校区へのスクールソーシャルワーカー（SSW）配置など、専門スタッフの配置拡充により、学校の生徒指導及び教育相談体制を強化し、児童生徒を取り巻く生活環境の改善を図ります。

貧困をはじめとする子どもの生活環境の改善

「チーム学校」による生徒指導及び教育相談体制の強化



専門スタッフの配置・派遣

児童生徒を取り巻く生活環境の悪化、SSW配置等の不均等

- 子どもの貧困、家庭状況を要因とする不登校児童生徒数の増加
- 各地域内の不登校等の学校間格差
- SSW配置状況の市町村間格差、SSWの資質向上等

事業費：90,669千円

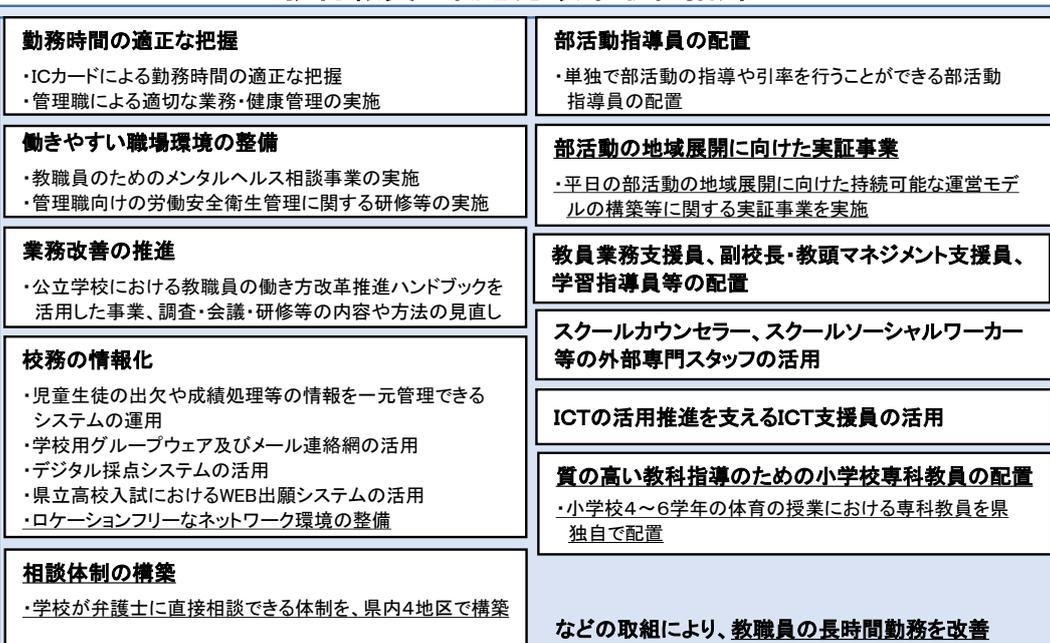
17 教職員の働き方改革推進事業（一部新規）

教職員課・義務教育課・体育スポーツ健康課

教職員の長時間勤務を改善するため、実効性のある対策を働き方改革の指針に盛り込み、教職員が子どもや自分と向き合う時間の確保や教育の質の向上を図ります。

教職員が子どもや自分と向き合う時間の確保、教職員の健康の保持増進・ワークライフバランスの実現

教育職員の働き方改革取組指針



抜本的な取組が必要

教職員の長時間勤務が深刻化

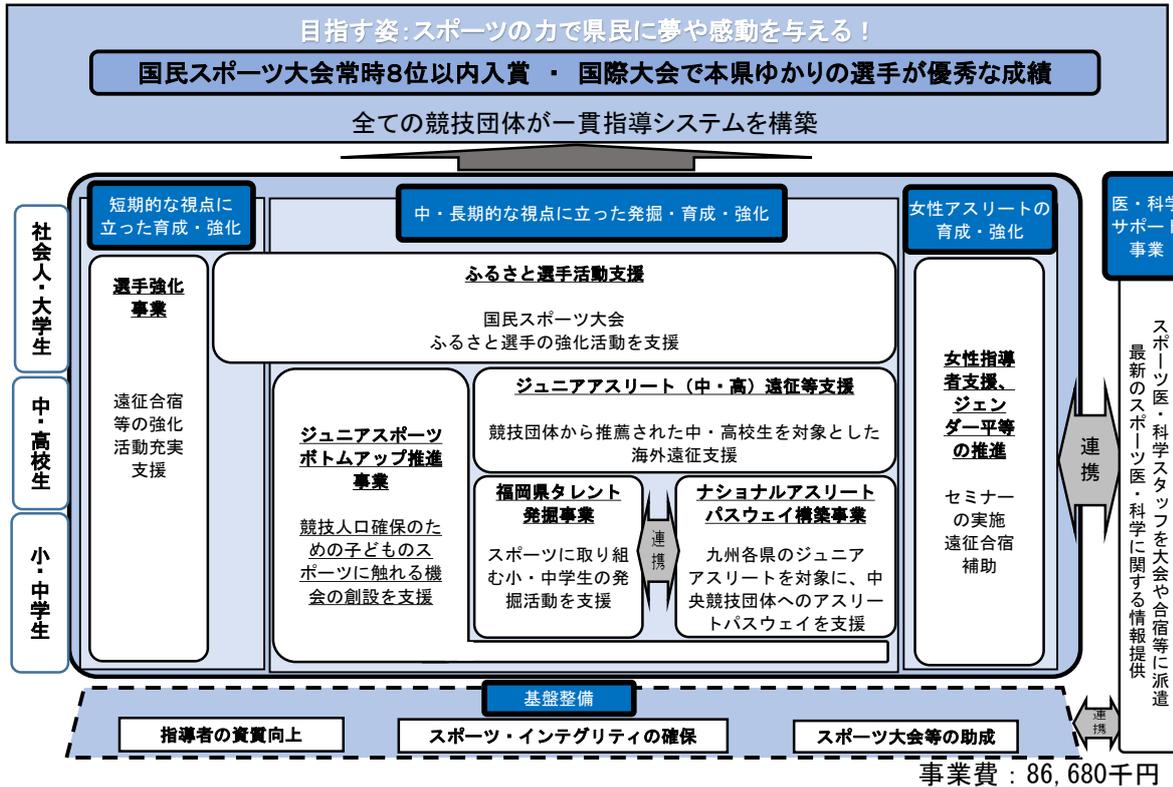
(教職員に求められる教育課題が複雑化・困難化するとともに、保護者・地域活動への対応等、その役割が多様化)

事業費：1,015,467千円

18 ジュニアアスリート育成・ジュニアスポーツ
ボトムアップ推進・競技団体等活性化事業（一部新規）

体育スポーツ健康課

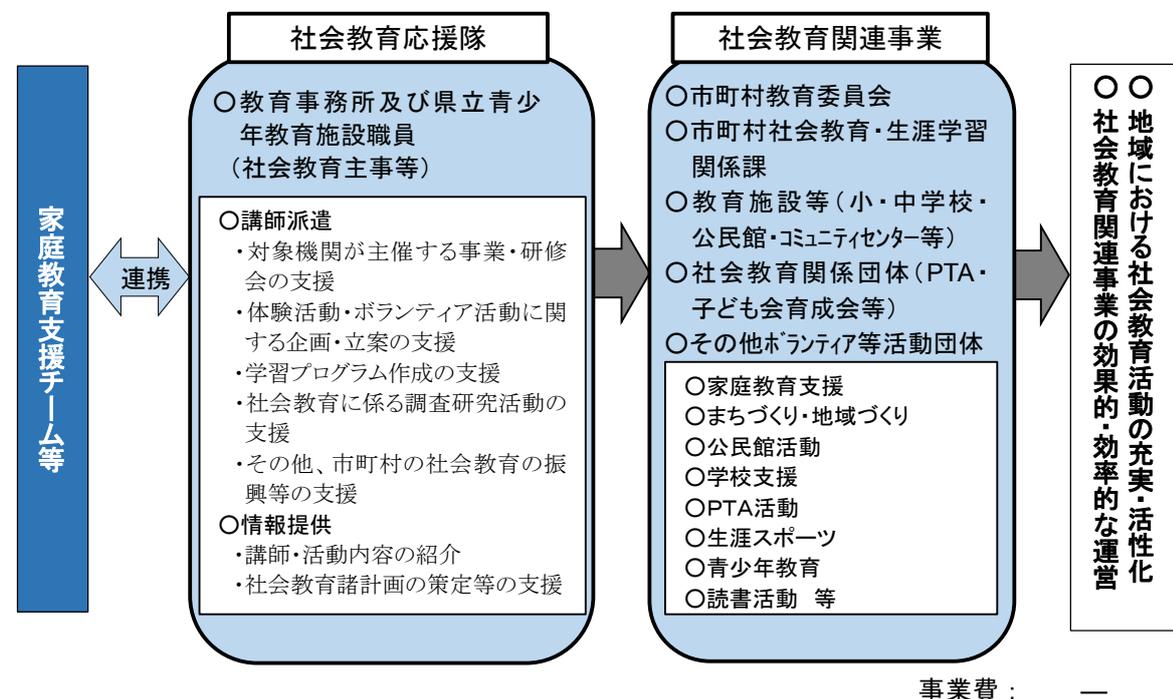
国際大会等世界の舞台上で活躍するなど、スポーツの力で県民に夢や感動を与えることのできるトップアスリートを輩出するため、スポーツに取り組む小・中学生の発掘から始まる各年代の「一貫指導システム」を構築します。



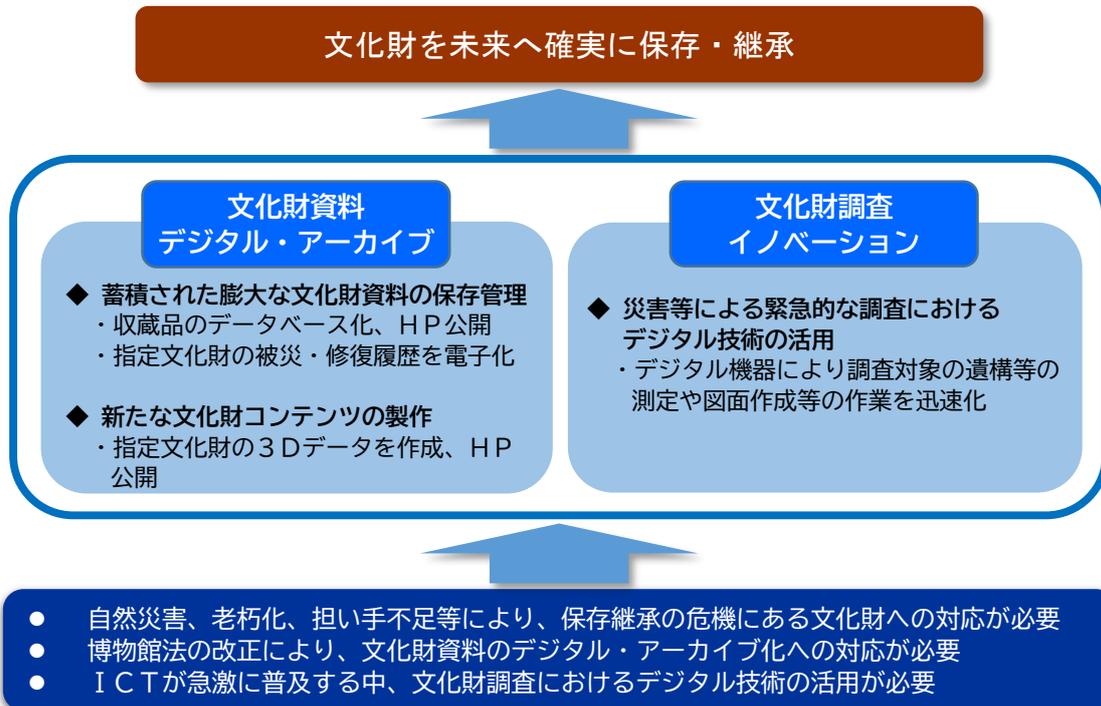
19 ふくおか社会教育応援隊事業

社会教育課

「ふくおか社会教育応援隊（県社会教育主事等）」が、市町村規模あるいは広域で活動する機関・団体等が実施する社会教育関連事業に対し、効果的・効率的な運営を支援することにより、地域における社会教育活動の充実及び活性化を図ります。

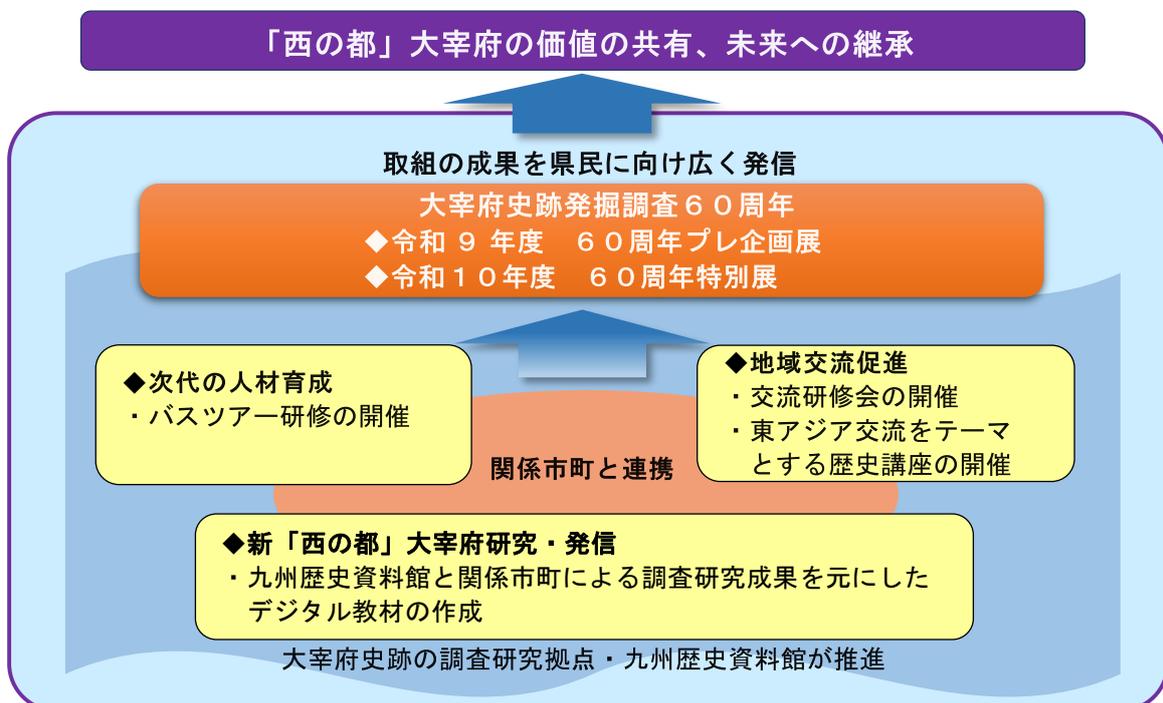


自然災害等における文化財保護に係る課題に対応していくため、デジタル技術導入による「文化財DX」を推進し、本県の文化財を未来へ確実に保存・継承します。



事業費：13,918千円

大宰府史跡の調査研究拠点である九州歴史資料館が核となり、関係市町と連携しながら、大宰府史跡の調査研究、次代の人材育成及び地域交流を促進し、大宰府史跡発掘調査60周年に合わせ、取組の成果を広く発信し、新たな「西の都」の価値を未来へ継承します。



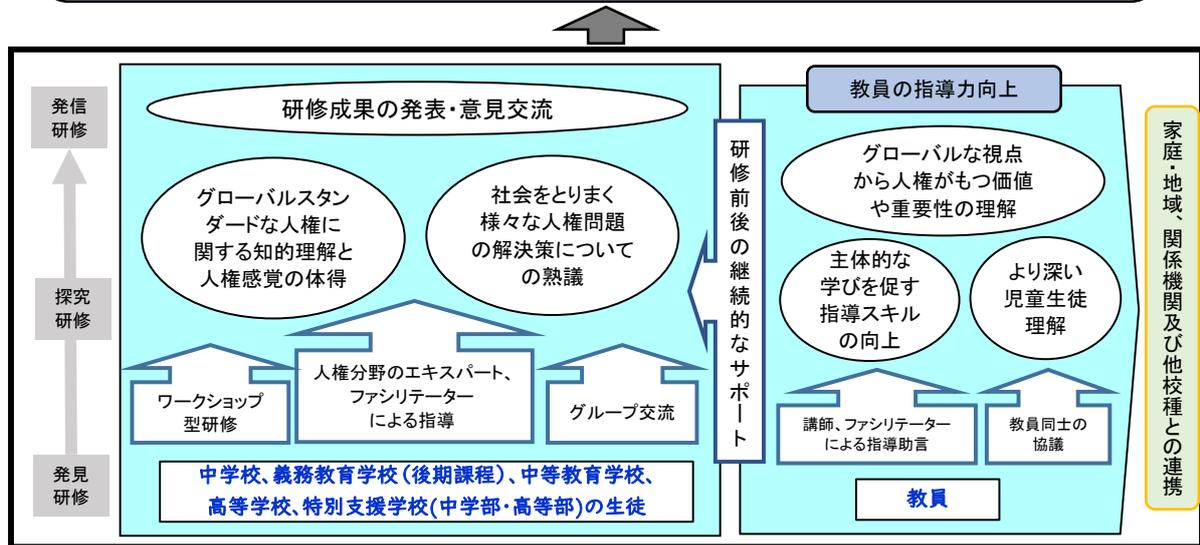
事業費：1,013千円

2.2 人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業 人権・同和教育課

グローバルで多様化した世界の中で、様々な人権問題に気づき、問題解決に向けた行動に一步踏み出すことのできる態度・技能（スキル）を身につけた生徒の育成のため、人権問題に関する有識者等によるワークショップや様々な地域・校種の参加者と交流する探究型セミナーを実施します。

人権問題の解決に向けた生徒のリーダーシップの育成

人権教育を通して培われた知識や様々な技能、態度をもとに、課題を自ら発見し、他者と協力しながら学びを深め、論理的に思考・判断し、人権問題の解決に向けて主体的に行動していく総合的な課題解決能力を育成



事業費：8,799千円

「令和8年度福岡県の教育施策」において、重点的に取り組む事業に関する予算概要

(千円)

柱	重点的に取り組む事業	事業名	予算額	説明	
I 教育の充実	1	ふくおか学力アップ推進事業	308,311	○福岡県学力調査の実施に要する経費(対象:小学校5年生、中学校1・2年生) ○学力強化が特に必要な市町村が実施する学力向上プランの推進に対する助成等 ○学力強化が特に必要な市町村への非常勤講師の派遣に要する経費 ○学力向上推進拠点校を有する市町村へのカリキュラム・マネジメントや人材育成事業に対する助成	45,853 5,895 254,487 2,076
		中学生英語実践力向上推進費	3,725	○福岡県学力調査(英語)の実施に要する経費(対象:中学校2年生)	
		地域学校協働活動事業	98,867	○市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等	
	2	グローバル化に対応した英語教育推進事業	596,573	○中学校におけるグローバル社会で活躍する人材の育成に要する経費 ・スピーチコンテスト	1,548
				○中学生における英語の実践力向上に要する経費	
				○福岡県学力調査(英語)の実施に要する経費(対象:中学校2年生) ※再掲	3,725
				○宿泊体験型英語プログラム「イングリッシュ・キャンプ」の実施に要する経費	6,697
				○AIアプリを活用した英語授業モデルの構築	17,319
				○英語授業改善推進委員会の実施に要する経費	102
				○高校における4技能型英語力の総合的な育成に要する経費	
				・ALT(外国語指導助手)の配置・活用に要する経費	433,529
				・ALTスペシャリストの配置・活用に要する経費	32,593
				・NET(ネイティブ英語教員)の配置・活用に要する経費	8,763
	・教員の英語力・指導力向上研修に要する経費等	161			
	・高校生を対象とした「選択型」探究プログラムによる留学の実施に要する費用	50,346			
	[新]高校生を対象とした「生徒作成型」探究プログラムによる留学の支援に要する費用	15,114			
	・高校生の留学経費に対する助成	8,240			
	[新]生成AIを活用した一人一人の理解度に合わせた学習モデルの構築に要する経費	18,436			
	3	福岡県体力向上総合推進事業	843	○「スポコン広場」地区大会等の開催に要する経費	731
				○体力向上推進委員会の実施に要する経費	112
4	福岡県部活動改革推進事業	165,677	[新]部活動の地域展開に係る協議会の運営等に要する経費	685	
			[新]市町村への地域展開推進アドバイザー派遣に要する経費	3,557	
			[新]部活動の平日の地域展開に向けた実証事業に要する経費	77,959	
			○市町村が行う中学校における部活動指導員の配置に対する助成	16,830	
			○部活動指導員の配置に要する経費	66,222	
5	[新]県産農林水産物を活用した食育推進事業	4,555	[新]体験型食育プログラムの開発及び食育教材コンテンツ作成等に要する経費	424	
6	ワンヘルス教育総合推進事業	37,432	○小・中学校における農業高校を活用したワンヘルス学習の実施等に要する経費	3,218	
			○ワンヘルス教育の実践内容の共有及び普及・啓発・推進に要する経費	15,961	
			○農業高校等における先進的な取組の実施に要する経費	1,989	
			○県立特別支援学校におけるワンヘルス教育の推進に要する経費	2,892	
			[新]県立学校の花壇やプランターの整備に要する経費	13,372	
7	読書好きを育む環境づくり応援事業	3,214	○市町村が実施することもの読書活動の充実を図る取組に対する助成等	2,668	
			○こどもの読書活動推進に係る取組の実施等に要する経費	546	
8	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業	90,669	○市町村の全中学校区へのスクールカウンセラー配置に対する助成	36,183	
			○小・中・高等学校における不登校等生徒指導上の諸課題に対応する専門スタッフの配置に要する経費	54,486	
	スクールカウンセラー等活用事業	484,303	○全小学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	112,416	
			○全中学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	260,514	
			○全県立学校へのスクールカウンセラー配置に要する経費	99,143	
	[新]心の健康教育推進事業	16,219	[新]県立学校の生徒を対象とした「心の健康教室」の実施に要する経費	13,175	
			[新]スクールカウンセラーによる職員研修の実施に要する経費	3,044	
	「子どもホットライン24」相談事業	34,817	○24時間対応教育相談の実施等に要する経費	34,316	
			○教育相談体制の構築に要する経費	501	
	SNSを活用した教育相談事業	23,549	○SNSを活用した相談体制の構築に要する経費		
			○ICTを活用した不登校児童生徒支援に要する経費	11,769	
			○早期アプローチによる不登校児童生徒支援に要する経費	51,908	
○長期入院や不登校の生徒に対するオンライン学習環境の提供に要する経費			1,354		
○博多青松高校通信制教育の充実に関する経費			2,341		
不登校児童生徒支援事業	87,896	○県立高等学校における学びの多様化学校の運営に要する経費	20,524		
		○いじめ問題等学校支援チーム委員による学校支援に要する経費	515		
		○いじめ重大事態調査委員会への第三者委員の派遣に要する経費	8,858		
地域総がかりで行う不登校児童生徒支援費	86,011	○地域における子どもの居場所(サポートスポット)を設置する市町村への助成	77,069		
		○保護者向けの交流・相談会を開催する市町村への助成等	8,942		
9	保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業	10,285	○児童生徒及び保護者が参加する規範意識育成学習会への講師の派遣に要する経費		
10	地域と一体となった学校づくり事業	195,421	○市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等 ※再掲	98,867	
			○県立高校のコミュニティ・スクール導入に要する経費	968	
			○県立高校における地域学校協働活動の実施に要する経費	1,588	
			○地域におけるこどもの居場所(サポートスポット)を設置する市町村への助成 ※一部再掲	86,011	
			○ふくおか教育月間(11月)の推進に要する経費	7,987	
11	「鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	1,341	○小・中学校における学力向上のための「鍛ほめ福岡メソッド」の研究に要する経費		
12	特別支援教育の推進事業	544,658	○小・中・高等学校との交流事業費	1,051	
			○医療的ケアを必要とする児童生徒のための環境整備に要する経費	321,209	
			[新]モデル校における医療的ケア児への通学支援の実施に要する経費	7,506	
			○幼稚園、保育所、小・中・高等学校への発達障がいに関する専門家の派遣等に要する経費	6,273	
			○特別支援学校生徒の就職促進を図るためのガイダンス等の実施に要する経費	16,781	
			○スクールカウンセラー及び理学療法士等の外部専門家の配置に要する経費 ※一部再掲	20,995	
			○県立学校への特別支援教育支援員の配置に要する経費	159,501	
			○県立高等学校等における通級による指導の実施に要する経費	10,892	
			○適切な就学先決定のための幼児期からの就学相談に要する経費	450	

柱	重点的に取り組む事業	事業名	予算額	説明	
I 教育の充実	13	高校生みらい支援事業	43,149	○生活困窮世帯等の生徒に対する進学・就職支援を行うコーディネーターの配置に要する経費	
		県立工業高校産業人材育成事業	60,245	○産学官連携を行い、高度で実践的なものづくり技能を持つ人材育成に要する経費 ○半導体関連企業への訪問に要する経費	58,373 1,872
		農業高校DX人材育成事業	2,884	○スマート農業機器を利用した実習、先進農家へのインターンシップ等の実施に係る経費	
		県内成長産業を支える人材育成・マッチング推進事業	78,066	○中・高等学校における先端技術への理解促進に要する経費	
		県立高校金融リテラシー教育推進事業	11,155	○県立高校における金融リテラシー教育の実施に要する経費	
		県立高校産業教育充実事業	2,868	○高度な職業資格を対象とした検定料の助成に要する経費	
		県立特別支援学校生徒希望進路実現支援事業	16,781	○特別支援学校生徒の就職促進を図るためのガイダンス等の実施に要する経費 ※再掲	
	14	帰国・外国籍児童生徒教育支援事業	15,327	○県立学校における帰国・外国籍生徒の学校生活の支援に要する経費	
		[新]日本語指導が必要な児童生徒への支援体制整備事業	12,519	[新]日本語指導が必要な児童生徒が在籍する市町村への支援員の配置や学習支援アプリの導入等に対する助成 [新]日本語指導担当教員を支援するアドバイザーの派遣に要する経費 [新]日本語指導担当教員の指導力向上に係る研修の実施に要する経費	11,328 932 259
	15	ICTを活用した教育推進事業	4,023,834	○児童生徒の情報活用能力の育成に資する教育活動の充実による経費	2,209
				○生徒の学習データ分析による個別指導の充実、授業改善、採点業務の効率化に要する経費	15,678
				[新]県立高校生を対象としたオンライン講座の動画制作およびアーカイブ動画サイトの構築・運営に要する経費	10,375
				○県立学校における1人1台タブレット型パソコンの整備に要する経費	710,976
				[新]県立学校の次世代校務DX環境の整備に要する経費	52,626
				○全県立学校のICT活用推進に向けたICT支援員の派遣に要する経費	98,018
				○教育センター、体育研究所においてICT活用能力向上に係る教員研修を実施するためのICT環境整備に要する経費	7,105
				○情報、理数教育を強化する学校のデジタル環境整備に要する経費	155,000
				○特別支援学校の訪問教育対象生の学習・交流機会拡充のための分身ロボット配備に要する経費	6,810
				○特別支援学校におけるICT活用教育推進のためのデジタル教科書及び電子黒板の整備に要する経費	8,421
	○特別支援学校等における1人1台端末を活用するための入出力支援装置の整備に要する経費	29,403			
○教育事務所のICT環境整備に要する経費	2,274				
○公立学校の1人1台端末の更新に要する経費	2,924,939				
16	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業 ※再掲	90,669	○市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカー配置に対する助成	36,183	
			○小・中・高等学校における不登校等生徒指導上の諸課題に対応する専門スタッフの配置に要する経費	54,486	
17	教職員の働き方改革推進事業	1,015,467	○県立学校における勤務時間等を管理するシステムの運用に要する経費	24,652	
			○県立学校における情報共有システム運用に要する経費	3,663	
			○県立学校における生徒の基本情報等管理システム運用に要する経費	177,923	
			[新]県立学校の次世代校務DX環境の整備に要する経費 ※再掲	52,626	
			[新]県立学校におけるスクールロイヤーによる学校サポートに要する経費	7,686	
			○県立高校入試におけるWEB出願システムの構築に要する経費	44,285	
			○全県立学校のICT活用推進に向けたICT支援員の派遣に要する経費 ※再掲	98,018	
			○生徒の学習データ分析による個別指導の充実、授業改善、採点業務の効率化に要する経費 ※再掲	15,678	
			[新]小学校における専科教員の配置に要する経費	331,755	
			○市町村が行う教員業務支援員・学習指導員等の配置に対する助成	90,986	
○市町村が行う副校長・教頭マネジメント支援員の配置に対する助成	6,760				
[新]部活動の平日の地域展開に向けた実証事業に要する経費 ※再掲	77,959				
○市町村が行う中学校における部活動指導員の配置に対する助成 ※再掲	16,830				
○部活動指導員の配置に要する経費 ※再掲	66,222				
○部活動指導員等の研修に要する経費 ※再掲	424				
II スポーツ立県福岡の実現	18	ジュニアアスリート育成・ジュニアスポーツボトムアップ推進・競技団体等活性化事業	86,680	○将来有望な小・中学生の選手発掘・育成に対する助成	10,183
				○国民スポーツ大会成年種別の「ふるさと選手」の県内強化活動に対する助成	10,135
				○オリンピックをはじめとした大規模大会に向けたアスリートの育成等に要する経費	22,558
				○各種スポーツ大会開催に対する助成	8,450
				○競技団体の組織強化に対する助成	12,742
				[新]中学校部活動において普及が困難な競技の体験会・交流会及び育成合宿に要する経費	12,588
				○オリンピックをはじめとした大規模大会に向けた女性アスリートの育成に要する経費	284
				○県内トップアスリートに対する医・科学アドバイザー等の派遣に要する経費	9,112
○女性アスリートの指導者を養成するためのセミナー開催に要する経費	436				
○スポーツ団体におけるジェンダー平等を推進するためのセミナー開催に要する経費	192				
III 共助社会づくり、生涯学習の推進	19	ふくおか社会教育応援隊事業	—	○市町村教育委員会等が実施する社会教育関連事業に対し、職員(社会教育主事等)が効果的・効率的運営を支援	
IV 文化芸術の振興	20	九州歴史資料館収蔵品デジタル化・公開事業	13,918	○収蔵品のデジタルアーカイブ化及びホームページ公開に要する経費	
	21	[新]「西の都」大宰府未来創造事業	1,013	[新]「西の都」の理解を深めるための調査研究・発信に要する経費	
VII 人権が尊重される心豊かな社会づくり	22	人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業	8,799	○人権リーダーシップ育成合宿等の実施に要する経費	

魅力ある県立高校づくり ～次代を担う人財の育成に向けて～

本県では、学校の特色化、教育活動の充実、生徒へのきめ細かな支援、学校の広報機能の強化などの取組・事業を実施し、**次代を担う「人財」の育成**の基盤となる**魅力ある県立高校**づくりを推進します。

だから私は「**県立高校**」をえらぶ！

ICTで学びが変わる 充実した学習環境

- ICTの効果的な活用
 - ・1人1台タブレット、全クラスWi-Fi完備の学習環境で、ICTを効果的に活用した教育活動を実施します
- 生徒が時間や場所を問わず視聴し学ぶことができるアーカイブ動画サイトを運営します
- 協働的な学び
 - ・学校の枠を越えて共に学ぶ学校横断型の教育プログラムなど、協働的な学びを推進します

安全・安心の落ち着いた環境で楽しい高校生活

- 専門家によるサポート
 - ・スクールカウンセラーを全県立高校に配置し、スクールソーシャルワーカー・訪問相談員を拠点校から全県立高校に派遣します
 - ・通級による指導を拠点校4校、サテライト校2校で実施します
 - ・生徒の命を守るため「心の健康」教育を全県立高校で実施します
 - ・スクールロイヤー（弁護士）を活用し、学校におけるさまざまな問題の早期解決を図ります

魅力ある県立高校

外国語指導の充実

- ・ALT（外国語指導助手）を活用したオンライン英会話や、ネイティブ英語教員、ALTスペシャリストの配置による高度な英語力の育成など、外国語指導の充実に取り組みます
- ・AIアプリの導入によりライティング及びスピーキングの新しい学習モデルを構築します

特色化・活性化の推進

- 学科・コースの充実
 - ・個性豊かな1人1人の夢や目標の実現に向けて学科・コースの充実を図ります
- 入学者選抜制度の改善
 - ・受検生の多様な個性、学校の特色に応じた制度の改善に取り組みます
- 広報機能の強化
 - ・県立高校の魅力発信のための広報機能を強化します

「スクール・ポリシー」
「スクール・ミッション」

「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」

- 県が策定する「高等学校教育改革実行計画（仮称）」により高校教育改革を実施
- ・探究的・実践的な学びを通じたアドバンスト・エッセンシャルワーカー等の育成に取り組みます
 - ・文理融合の学びにより理数系人材の育成に取り組みます
 - ・多様な学習ニーズに対応した魅力ある教育機会を確保します

スクール・ミッション: 高等学校の設置者が定義する、各高校に期待される社会的役割。

スクール・ポリシー: スクール・ミッションを前提として各高校が策定する、教育活動の指針となる3つの方針（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程に関する方針、入学者受入れに関する方針）。